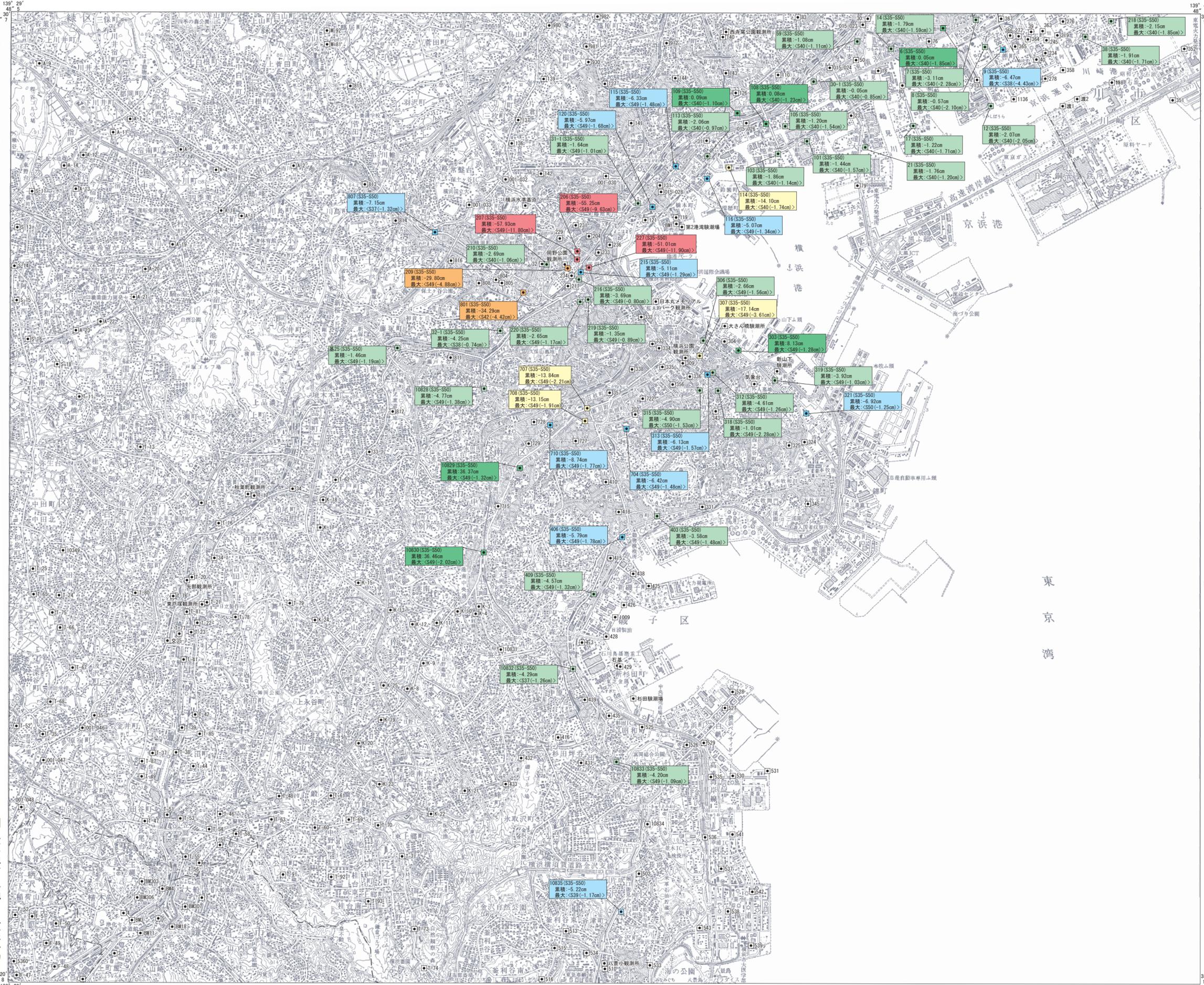


平成二十二年 度調査

平成二十三年 二月発行 国土交通省土地・水資源局



凡例

1. 地盤沈下

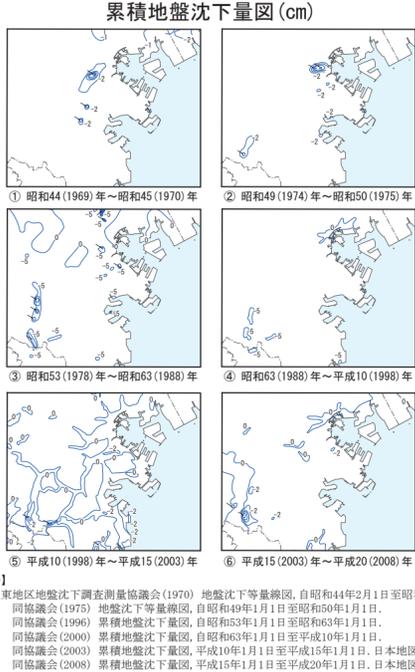
①(2)	累積沈下量(cm)
②	①(2) 累積 ③(cm) 最大 ④(5)(cm)
③	①(2) 累積 ③(cm) 最大 ④(5)(cm)
④	①(2) 累積 ③(cm) 最大 ④(5)(cm)
⑤	①(2) 累積 ③(cm) 最大 ④(5)(cm)

①水準点・水準基標番号
②集計期間
③集計期間の累積沈下量(単位:cm)
④集計期間の最大沈下年
⑤集計期間の最大沈下量(単位:cm)

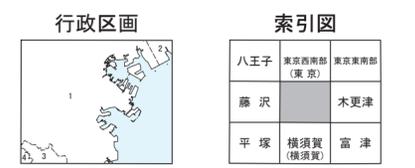
□ 集計対象外とした水準点・水準基標
— 水準点・水準基標管理境界

【資料】
神奈川県・横浜市・川崎市(1965) 京浜地帯地盤沈下調査報告書, 神奈川県
神奈川県・横浜市・川崎市(1970) 京浜地帯地盤沈下調査報告書, 第二次調査資料集, 神奈川県
神奈川県(1976) 京浜地帯地盤沈下調査報告書, 第三次報告書(昭和47年度~昭和49年度)
神奈川県(2009) 地盤沈下等量線図

【注】
集計期間中に移転・改埋があった水準点・水準基標および集計開始年に観測がされていなかった水準点・水準基標は集計対象外とした。
水準点・水準基標位置は現在の配点図を用いた。
川崎市の改埋履歴を示す水準点名のアルファベットは非表示とした。現在の配点図に241水準点・水準基標は削除した。
集計期間中にデータ欠損があった地点の最大沈下量及び沈下年を○をつけて表示した。



- 摘要**
- 経緯度の基準は世界測地系
 - 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
 - 作業機関 東京カートグラフィック株式会社
 - 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成12年修正
 - 対応する二次メッシュコード 533904.533905.533914.533915



「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平成22業使、第703号)」